

5万分の1地質図幅の新刊

# 飛驒古川

## HIDA - FURUKAWA

5万分の1地質図幅  
地域地質研究報告

### 著者

野沢 保 (地質調査所)

河田 清雄 ( " )

河合 正虎 ( " )

発行 工業技術院地質調査所(1975. 1)

取扱先 東京地学協会 (03) 261-0809

る飛驒帯の南縁で 日本列島の基盤問題から現在の活断層にいたる多様な地質現象が詰めこまれている。

- 飛驒変成岩・石灰岩と各種の石英長石質片麻岩の累層 球状岩もある。これには船津花崗岩がともなわれ “眼球片麻岩”をつくり 変成帯内部に交代性岩体もみいだされる。
- 古生層：おもに飛驒外縁帯に属する結晶片岩 石炭紀 奇妙な上広瀬礫岩もふくまれる。
- 中生層：おもにジュラ紀—白亜紀手取累層群石徹白層群に属する礫岩・砂岩・泥岩 しだや二枚貝の類の化石がみられる。一部で足羽層群相当層もみいだされる。
- 白亜紀末珪長質火山岩類：中部地方内帯に広く分布する濃飛流紋岩の北縁が この地域に分布するほか 小鳥川流紋岩類や 大雨見山火山岩類もこれにふくまれる。
- 活断層：今も動く跡津川断層と随伴する断層群が全地域をズタズタにきざんでいる。

●飛驒の“驛”という字は “天をゆく白い馬”つまり “ペガサス”という意味である。この図幅地域はまさにペガサスの背中にあたる。地質学的には いわゆる

